

## お子さんの様子で 気になることはありませんか？

### 体と感覚

- よく転んだり体の動きがぎこちなかったりする。
- 視線が合わない。
- 指先を使う遊びや活動がうまくできない。
- 音や匂い、光などの刺激に敏感である。
- 濡れたり、汚れたりすることを極端に嫌がる。
- 極端な偏食がある。

### 言葉

- 言葉が遅い。
- 発音がはっきりしない。
- 状況に関係なく、一方的に話す。
- 名前を呼んでも返事や反応をしない。

### 情緒

- 色や物、手順などに強いこだわりがある。
- 同じことを何度も質問したり、話したりする。
- 急な予定変更があると、パニックになる。
- すぐにカッとなって、友だちとトラブルになる。
- 慣れない場所や初めての活動に参加することが難しい。
- 周りとのコミュニケーションがうまくとれない。

### 学習

- 落ち着きがない、集中力がない。
- 指示が理解できない。
- 文字の読み間違いや書き間違いが多い。
- 計算はできるけど、漢字はうまく書けないなどできること、できないことの差が大きい。



子どもの気になる行動の要因の一つとして、何らかの発達上の特性が見られる場合があります。周囲の大人が早めに子どもの特性に気づき、適切な支援を行うことで、気になる行動を減らし、子どもが本来持っているさまざまな能力を伸ばしていくことができます。

ご家庭のみでなく、様々な相談機関から情報を得ることで、その子にあった接し方やサポートを見つけていきましょう。

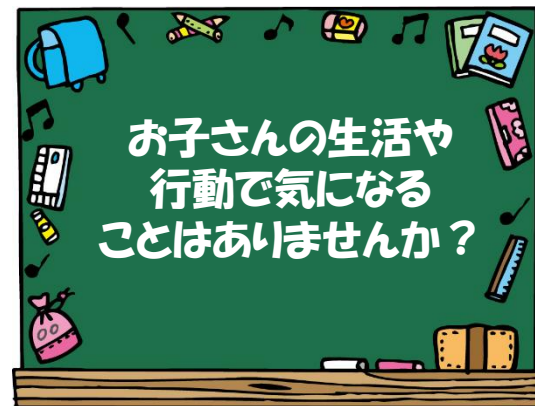


お子さんの発達について気になることや不安を感じるがある場合には、ご家庭だけで悩まずに、お子さんの園や学校にお気軽にご相談ください。

### <その他の相談機関>

- 佐世保特別支援学校上五島分教室  
TEL 54-1121
- 役場福祉課 TEL 53-1111
- あおいとり TEL 52-2293
- 上五島保健所 TEL 42-1121

# 一人ひとりが 輝くために



新上五島地区  
特別支援教育コーディネーター連絡協議会

# 特別支援教育は『特別なこと』ではない！！



大人から見ると「どうして？」  
と思ってしまう子どもの行動。  
でも、見方を変えると、その子  
自身が何か困っているからなの  
かもしれません。

特別支援教育では、障がいの有無にかかわらず、  
子どもたち一人一人を大切にしていける教育を進め  
ています。

成長の仕方やスピードは、一人ひとり異なりま  
す。それぞれのお子さんの特徴をふまえ、その子  
に合った接し方をしたり環境を整えたりするこ  
とで、お子さんの困りごとを減らすことができます。

- ★子どもの可能性を最大限に伸ばすために
- ★生活や学習上の困難を改善し克服するために
- ★子どもが自立し、社会参加するために

すべての園や学校で特別支援教育が行われて  
います。



## 例えば・・・

## 特別支援教育では このような支援をしています

### 忘れ物が多い子

宿題忘れた～

教科書忘れた～



体操服忘れた～

- 言葉かけだけでなく絵や写真の掲示をする
- 家庭へのお便りやお知らせボードを活用する など (幼・保)

- 連絡帳の記入確認や個別のメモを活用する
- 家庭との連携(生活リズム・習慣化)など (小学校)

- 持ち物の記入の声かけ、記入後の点検
- 家庭との連携(確認の協力、急な準備物は直接連絡)など (中学校)

- メモの書き方 ○To Doリスト
- 手帳の活用 など (高校)

### 片付けられない子

どうやって  
片付けたらいいの～

何がどこにあるか  
わからないよ～



机やカバンの中も  
ごちゃごちゃだ～

- 視覚的な掲示や分別の表示
- 自ら進んで片付けや整頓できる環境づくり (幼・保)

- 写真やイラストで片付けの手順や場所をわかりやすくする
- 整頓タイムの確保 など (小学校)

- 理想的な整頓の状態を視覚的に示す。
- 定期的な点検・確認や整頓の見届け など (中学校)

- 物を置く場所を決める
- クリアファイルで分別する など (高校)